

大分市地域まちづくりビジョン

植田地域ビジョン会議 通信

第2号

発行：植田地域ビジョン会議事務局

この通信は、地域ビジョン会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

地域ビジョン会議の目的

本市において、今後、人口が減少に転じることが予測され、地域コミュニティの活性化や効率的な行政運営などの諸課題への対策が求められています。

これら課題の解決には、行政が市民の意向や地域の実情を的確に把握し、市政への反映に努めることが重要です。

このような中、市内13地域において、地域の代表者等で構成する『ビジョン会議』を設置し、議論を深めそれぞれの特性を踏まえた「地域まちづくりビジョン」としてご提言いただきます。

第2回植田地域ビジョン会議



- 平成29年8月9日（水）15：30～
- 植田市民行政センター 2階 大会議室
- 開会
- 一、会長あいさつ
- 二、議事
 - 1.第1回ビジョン会議の整理
 - ・委員発言要旨のまとめ
 - ・地域ビジョン会議ニュースの発行について
 - 2.これからのまちづくりについて
 - ・（仮称）大分市多極ネットワーク型コンパクトシティ
 - ・形成計画の説明など
 - 3 グループワーク
- 二、その他
- 閉会

これからのまちづくりについて

事務局よりこれからのまちづくりについて各計画の説明を行いました。

1. 植田地区における都市計画について（都市計画マスタープランの概要）
 本地区は、近年の市街地の拡大に伴う急激な人口増加と、その購買力に誘発された大規模商業施設の立地が進み、商業圏域は他市にも及ぶほどで、更なる拡大も予測されます。同時に野津原地区や由布市と中心市街地を結ぶ交通の要衝に位置することから、交通結節機能を強化すべき地区でもあります。

また、大分川、七瀬川の恵みによって形成された田園環境と調和した都市空間づくりも求められています。

このようなことから本地区は、「田園環境と調和した地区拠点（交通ふれあい拠点）の形成」をまちづくりの目標とします。

2. 大分市立地適正化計画について

大分市では、昭和39年の新産業都市の指定後、急激な商工業の発展と人口増加にあわせて、市街地が拡大し、都市基盤施設の整備などを推進してきたことにより、拡散型の土地利用が進行してきました。そのため、今後、少子高齢化等の進展による人口減少および人口密度の低下に伴い、税収の減少による財政規模の縮小、生活利便施設や公共交通の縮小、地域コミュニティ機能の低下等が予測され、人々の暮らしに様々な影響を及ぼすことが懸念されます。

高齢者や子育て世代にとっては、安心できる健康で快適な生活環境を実現すること、財政面及び経済面において持続可能な都市経営を行うこと、公共交通等の効率化により低炭素型の都市構造を実現すること、災害から人命を守ることを推進していくため、都市の基本構造の在り方の見直しを行うなどの集約型都市構造へと転換する必要があります。

以上のことから、都市機能や居住の誘導に関する具体的な方策の検討を行い、都市再生特別措置法第81条に基づく「立地適正化計画」について、平成30年度末の公表を目指して作成することを進めています。



グループワークの流れ

【ステップ1】 重みづけ



【ステップ2】 ブレインストーミング



【ステップ3】 親和図作成



まちづくりのコンセプト (理念)成果発表表



【ステップ1】重みづけ(地域が重点的に取り組む施策の傾向を読み取る)

委員の皆様には、3班に分かれていただき、大分市総合計画の6つの「基本的な政策」に対し、普段から気になっていることや問題に思っている重点項目に一人5枚のシールを貼っていきました。

《1班:わさだ大好き♡》 班長:安東委員より発表

第1位が「防災・危機管理体制の確立」で、このニーズが1番高かったです。2番目が「安全で快適な住宅の整備、公園・緑地の保全と活用」が選ばれました。そして、その次に2票集めた項目がいくつかありました。「子ども子育て支援の充実・高齢者福祉の充実・障がい者福祉の充実」、それから「健康づくりの推進」、「地域医療体制の充実」、「地域コミュニティの活性化」、「安定した雇用の確保」、「勤労者福祉の充実」、「計画的な市街地の形成・交通体系の確立」ということになりました。

【ポイントを多く入れた項目】

- 防災・危機管理体制の確立・・・(4)
- 安全で快適な住宅の整備・公園緑地の保全と活用・・・(3)



《2班:ななせ班》 班長:品川委員より発表

ななせ班で1番多かったのは、「安全で快適な住宅の整備、公園・緑地の保全と活用」でした。

2番目は、「子ども・子育て支援の充実、高齢者福祉の充実、障がい者福祉の充実」でした。「福祉の充実」は、国や市で1番問題になっていますし、介護制度や国民の医療費など高齢者の増加により、財政が悪化していくなかで、手厚い制度を作ってもらいたいということが一つです。また「住環境」の部分もシールが多く、何十年も経った団地では、建て替えや耐震補強ができないお年寄りが数多くいるという問題が出ていると思います。「農業の振興」も、野津原地域の人口減少に伴い、稲田地域で、農業などを活用したまちづくりをしたらよいのではと思います。「社会教育・生涯学習」も多く、ここにも力をいれてほしいと思います。個人的な話ですが稲田公民館を七瀬公園の近くに建て替えて、将来的に利用ができるような構想をもってもいいと思います。



【ポイントの多く入った項目】

- 安全で快適な住宅の整備・公園緑地の保全と活用・・・(5)
- 子ども・子育て支援の充実 ・ 高齢者福祉の充実 ・ 障がい者(児)福祉の充実・・・(4)

《3班:西寒多ふじ》 班長:石崎委員より発表

「子ども子育て高齢者福祉」の項目に全員が入れており、子どもや高齢者が楽しく住めるまちにしたいという思いだと思います。次は、3票が「健康づくり」で、高齢者向けの健康体操などが現在も行われていますが、参加者のほとんどが女性なので、男性を引っ張り出さないといけないと思います。2票については、「医療体制」で、寒田にはアルメイダ病院など多くの医療機関がありますが、そうではない地域もあります。救急医療も含めて何かあったらどこでも行けるようなネットワークを作る時代だと思います。あとは、「学校教育」の分野で、教育委員会の方に頑張ってもらわないといけないと思います。「防災危機管理体制」ですが、土木事務所の危険地域の調査や自治委員の指導などありますが、団地のクラック(ひび割れ)があるところなどに対し、早めに調査し対策を立てるのが大事だと思います。「都市基盤」では、「公共交通機関ネットワークの充実」が大事だと思います。「環境」の部分は、稲田地域は公園が多くあり、ウォーキングコースも整備されているので、利活用を促進していくことが健康維持にもよいのではないかと思います。



【ポイントの多く入った項目】

- 子ども・子育て支援の充実 ・ 高齢者福祉の充実 ・ 障がい者(児)福祉の充実・・・(5)
- 健康づくりの推進・・・(3)

【ステップ2】ブレインストーミング(思いついた地域の魅力や課題を書き込む)

【ステップ3】親和図作成(問題点と課題点の整理)

各班で、思いついた地域の魅力や課題をポストイット(付箋紙)に書き込み、共通点を施策単位で親和図にまとめ、コンセプトを考えました。

《1班:わさだ大好き》 施策毎のポストイットの内容

■福祉・・・(21)

・住民皆が幸せな生活がおくれる・困った時に頼れる隣近所・大分市の小さな公園には魅力的な遊具が少ないため利用が少なく、また管理が不十分である・地域で三世代間の交流・子どもと高齢者が一緒に集える場所・買物難民・様々な知識、技能を有するベテランが活躍できる地域社会(受け入れが重要) 他

■教育・文化・・・(4)

・小、中学校と懇談会が多い(東植田)・山林を開発した団地では、伝統、歴史あるイベント、史跡もなく、地域を愛するといった郷土愛に欠ける 他

■防災・・・(10)

・危険交差点の安全策・不審者が出没する・地域の危険箇所の再認識と事前対応・公民館が地震時使用禁止では用をなさない・一次避難所として福祉施設との地域連携・超高齢化社会と少子化の中で安全安心のために必要なのは、防災危機管理対策が最重要である 他

■産業・・・(0)

■都市・・・(4)

・東植田公民館が築63年で倒れかけている・道路狭小部分がある(田尻~八幡田) 他

■環境・・・(4)

・自然が豊かな一方で、自然災害のリスクあり・堤防に菜の花を2年続けて植えている 他



《B:ななせ班》 施策毎のポストイットの内容

■福祉・・・(6)

・子育て支援重視・支援学校整備・児童館がほしい・在宅医療の充実・社会保障制度の充実 介護医療制度については予算が十分確保されない 他

■教育・文化・・・(10)

・学習場所がほしい・社会教育の振興と生涯学習の振興 健康寿命の延伸対策のために生涯学習の振興・散歩コースの整備・公民館が少ない・公民館の建て替え、整備の推進・子育ての支援(共働きの家庭)・幼稚園、保育園の充実 他

■防災・・・(4)

・消防団の訓練場所がほしい・避難場所の整備・防災対策として川の土手の整備 他

■産業・・・(5)

・担い手(農業)をつくるための支援・生産業の人手がほしい・生産業の補助を充実してほしい・若者の創業支援(全産業対象) 他

■都市・・・(5)

・ななせ公園に集会室を・ななせ川公園に河川プールをつくる(再整備)・植田地区の幹線道路の整備・賀来橋の架け替え・賀来~庄の原拡幅(2車線化)

■環境・・・(3)

・ななせ川の清流を守る!若者があふれるまちづくり・水田保全 他



《3班:西寒田ふじ》 施策毎のポストイットの内容

■福祉・・・(7)

・健康で長生きできる健康づくりを・いつでも病院にかかれる医療体制・緑豊かな植田を守り、高齢者が若年層に様々なことを伝えていけるよう健康づくりを進める・少子高齢化が急速に進行 他

■教育・文化・・・(5)

・教育を充実させることで優秀な人材を多く育て、生産性を向上させ、豊かな基盤を築く・日本の未来を担う子どもの育成・中学校や高校など各学校にエレベーターを設置するなどバリアフリー化を推進する 他

■防災・・・(4)

・南海、東海地震に対応できる危機管理・防災防犯対策のためのコミュニティの活性化 他

■産業・・・(1)

・商業、サービス業の活性化を図り、雇用を増加させるとともに、労働者が生活、子育てしやすい環境の構築

■都市・・・(5)

・人口を増やす 住みたくなる街・区画整理・敷戸駅前バス停作る 他

■環境・・・(3)

・自然を生かす 山、川、田・大切なことは環境作り・美しい自然が大切 他



まちづくりのコンセプト(理念)成果発表

各班長がそれぞれの意見を取りまとめた導いたコンセプト(理念)の発表をおこないました。

《1班:わさだ大好き♡》

コンセプト: みんなともだち わさだ大好き♡

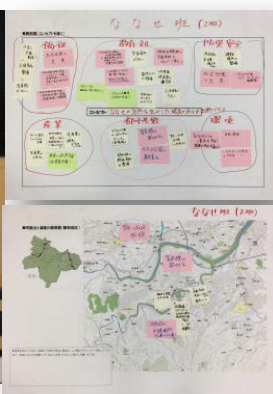
私たち「わさだ大好き」班は、福祉に関するポストイットが1番多く、それに対して、産業に関する意見は全然ありませんでした。大分東部地域にもそういった班もあったようです。

皆さんの意見をまとめてコンセプトは、「みんなともだち わさだ大好き」としました。



《2班:ななせ班》

コンセプト: ななせの自然を生かした若者があふれる街づくり



「ななせ班」では、福祉、教育・文化、防災安全、産業、都市基盤、環境あらゆる面から考えました。コンセプトは「ななせの自然を生かした若者があふれる街づくり」です。これから高齢化社会を迎える中で、若い世代が帰ってくるまちづくりをしなければ、生き生きとした街ができないと思います。「福祉」の点は、「子育て支援」で、共働きができるような支援を充実させていただきたい。それから高齢化社会を迎えて高齢者福祉対策の充実を図っていったらいいと思います。「教育」は、生涯学習を考えた時には、公民館で様々な教室を開いて、人を引っ張り出していくのが良いと思います。東植田は公民館が非常に老朽化しているので、新しく作ってほしいという意見もありました。「産業」については、植田地域は区画整理をした所があり、近代的なまちづくりができていますが、農村地域については、高齢化が進み、耕作放棄地もできています。行政と一体となって農業の補助金等で基盤を作り、守っていかないといけないと思います。「都市基盤」については、七瀬の公園を整備して、BBQができるようになると益々いいのかなと思います。「都市基盤」は、賀来橋から庄の原線を整備すれば、さらに良くなると思います。植田地区は、自然と触れ合うまちづくりが必要だと思います。

《3班:西家田ふじ》

コンセプト: 自然があふれる住みたくなるまち わさだ



コンセプトは「自然があふれる住みたくなるまち わさだ」です。植田は皆さんが言うように、本当に環境が良く、緑がいっぱいでいいなと思います。また住宅地がいっぱいありますけれど、静かで、それぞれの団地で素晴らしい行事もなされています。例えば火群まつりなどが最高でした。2日間見に行きましたが、自治区ごとで松明を投げるのに感動しました。そして福祉や教育の充実などの意見は、エレベーターが設置されるなど一部の学校ではバリアフリー化が進んでいますけど、高校などその他の学校もバリアフリー化が進むといいなと希望と願いを込めて言わせてもらいました。防災関係や環境、都市基盤、産業についても多くの意見がでました。皆さんの思いで素晴らしい植田を盛り上げたい気持ちでいっぱいです。